

信州長野 物見の岩トポ Ver.5.0

令和5年(2023年)10月15日 RCT/K

善光寺裏手の大峰山中腹にある「物見の岩」は、川中島合戦で上杉方が武田軍勢を見張った場所と言われ、善光寺平を広く見渡せる位置にある。古くから利用されているこの岩場は「上の岩場」と下の「岩井堂観音の岩場」に分かれており、アルパインからフリー、マルチピッチの練習など、また冬のアイゼントレーニング、救助訓練にと幅広く利用されている。

岩質は、長野市の近くに広く分布する「裾花凝灰岩層」の中にある流紋岩で硬くしっかりしているが、一部風化が見られ、浮石には十分注意が必要である。またプロテクションもスポーツルートは大分ハンガータイプにリボルトされているとはいえ、アルパイン系ルートはハーケンやリングボルトなどが多く、ランナウトするラインも多々あるので、トライの際は、その点に十分留意する必要がある。

また終了点が岩上のテラスの奥にあることが多いので、特にトプロープでのトライの際は、必要に応じてスリングで延ばすなどの対応をした方が良い。

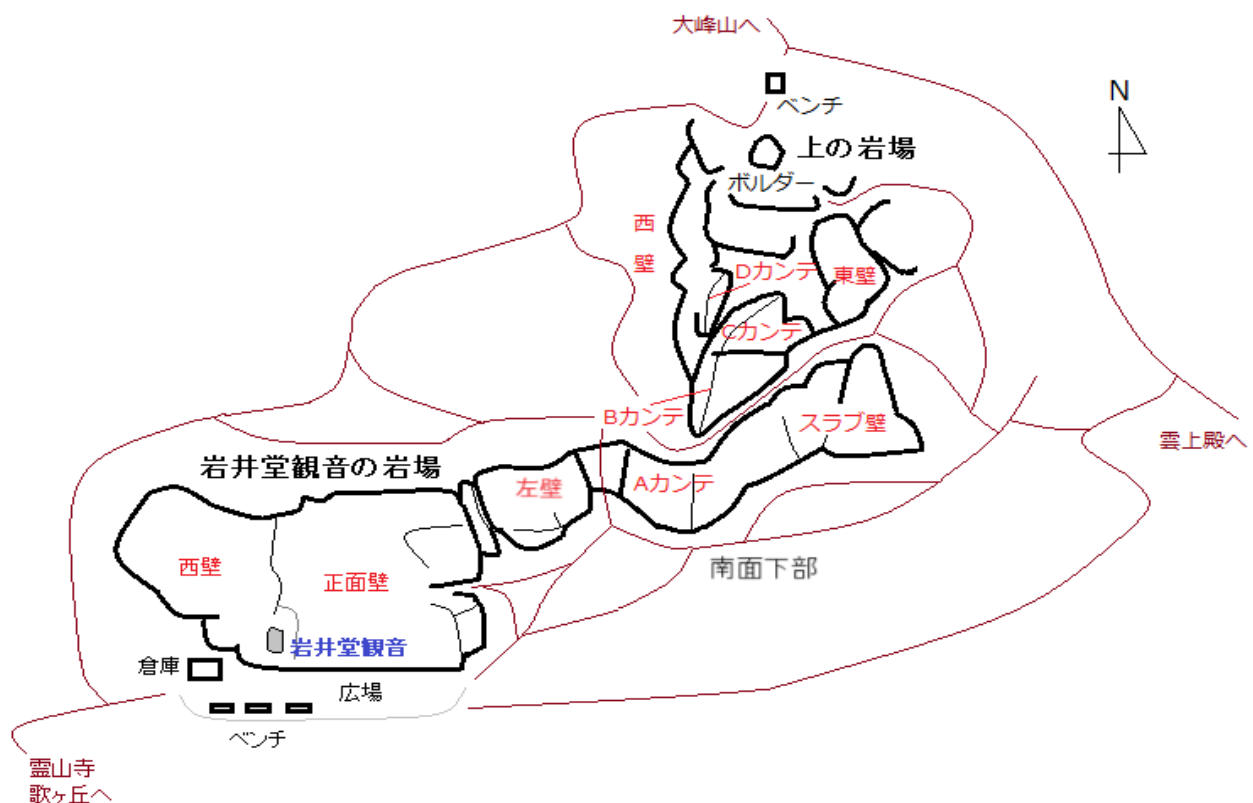
この岩場に何回か通ううち、最初は昔の岩雪93号のトポしか手元に無く、ルートの判別やグレードが不明瞭であったが、上の岩場を登り終えた頃、ネット上で「Kさんによるトポ2005年11月版」が見つかり、その後ルートの判別やグレードの再検討にと大いに参考にさせていただいた。

なお、今年度秋に、上の岩場の西壁、南面下部のAカンテ周辺、岩井堂観音の岩場の空白部、さらに、昔登られていた形跡のある荒れ果てブッシュだらけとなっていた南面下部の左壁を掃除して何本か新ルートを追加した。

グレードについては、「岩雪」及び「Kさんによるトポ」を参考に、自分の感覚と照らし合わせて判断したが、他人の意見を十分聞いたわけでもないので、参考程度と考えてもらいたい。

シーズンは、通年であるが降雪後は利用不可。しかし山の中腹の南斜面なので雪の融けるのも早く、好天が数日続けば利用可能となる。夏季は日差しが強く暑さはあるものの、場所を選べば風が吹き抜け意外と快適である。

アクセスは、善光寺裏手の雲上殿、霊山寺、花岡平霊園、地附山公園を目指して行く。雲上殿の駐車場がトイレがあり便利。岩場に近い霊山寺駐車場の利用にあたってはお布施として幾らか支払うことになっている。



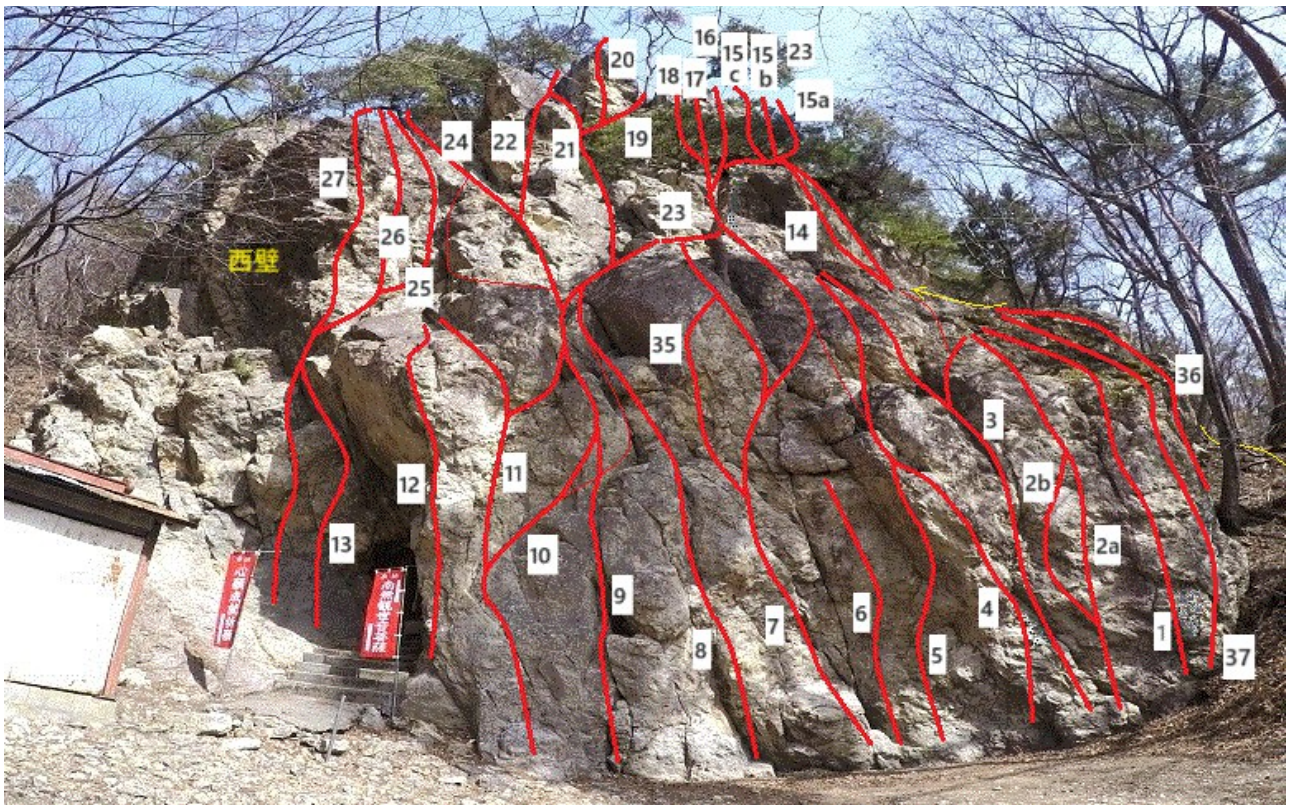
アプローチについては、霊山寺からハイキングコースを大峰山方面へ入ると時間的に早いですが、雲上殿、地附山公園方面からは車道の途中から山道を登って行くこともできる。

《ルート詳細》 登って面白いと感じたルートに★をつけてみた。

■岩井堂観音の岩場

●正面壁

スケールがあり、マルチピッチの練習にもよく使われており、下部には面白いスポーツルートが揃っている。また、下部一番右よりの「大富豪」は当時日本で最初に登られた5.11ルート的一本だと言われている。昔からのエイドに使われたリングボルトは大幅に撤去され、フリー中心のきれいな壁になっている。岩井堂観音のハングもボルトが撤去されたため、観音様も安らかに過ごされていることと思われる。注意点としては、一部風化が激しく浮石が多くみられること、一部ルートの上部に良い終了点がないことなどが挙げられる。



1. 大富豪(5.11d)★ 下部一番右よりのクラックの入ったフェイスの中央を登る。どちらかというとパワーよりも微妙なバランスで登るルート。1本目の上は身長が無いと良いホールドまで遠い。「Kさんによるトポ」でのグレードは5.12となっており、「100岩場」のコメントでは5.11としている。

2a. 超富豪(仮)(5.11d)★ 「大富豪」左のフェイスの中央を直上。これが{Kさんによるトポ}にある右ラインか？ライン取りと限定の有無が不明。1本目右下の縦カチを取ってから「くノ一」のクラックより左を足限定不使用(5.12a？限定なしで5.11d程か)で登るが、パワーに加えバランスが必要でムーヴ的には面白い。限定を意識しないと左ラインの方に行ってしまう。手はフェースのみ。名前が欲しいので勝手に命名させてもらった。正式なルート名があればそちらに従いたい。

2b. 超富豪左(仮)(5.11b) 2aルートの左ライン。ライン取りと限定の有無が不明。足の限定なしで手はフェースのみ。

3. くノ一(5.9)★ 右のフェイスに良いホールドがある。

4. トリプル・スカイ・ダンシング(5.10c/d)★ ハングの縁を左上していく面白い好ルート。

5. **スーパー・ダイレクト(5.11d)★** 左の7ルートの大きなレッジは限定で使用せず、あくまでも下から直上する。穴までのムーヴがバランスが厳しくボルダームーヴ。1本目は追加で新たに打つ。
6. **不明(?)** 未トライ。右の被ったコーナーのホールドを最後まで使うのか等の限定ありか不明。
7. **400(5.9)★** 下部はフレーク状のガバを思い切って登る。上部は松の木の凹角に入らず松の木左のカンテか右のフェイスを登ったほうが快適。
8. **和王(5.10c)★** 中間部のホールドの向きが悪く登りにくい。終了点が無いので、レッジからAルート下部に入るか、松の木左フェイスの右カンテを登る。
9. **Aルート下部・クラックスタート(5.7)** クラックにカムチョックを効かせれば安心だが一段上がるとボルトもある。上にもクラックが続くので良いナチュプロの練習にもなる。
10. **Aルート下部・ノーマルスタート(5.6)** 弱点を蛇行して登る。左に連打されているボルトを使うとロープの流れが良い。
11. **島津・渡辺 I (5.10b/c)** カチで引き付け左上へ。右上に抜けてAルート下部に合流もできる。途中浮石あり。
12. **Do Your Best(5.10d/11a)★** ガバのフェイスから被ったクラックへ。
13. **スカイ・ハイ(5.10a)** ハングした凹角。終了点がないので「ムーンライト・・・」の下部ヴァリエーション的扱い。
14. **太陽フェイス(左 5.9 右 5.7)** 左はハンガーボルト。右はハーケン1本だけだったので追加で下部に打ったが2本目は効きが甘そうなので慎重に。終了点が無いので上の段のフェイスを登って終了。
- 15a. **不明(5.6)** 太陽フェイスの上段のフェイス。右のハーケンの打たれたクラックからガバ。
- 15b. **不明(5.5)** 太陽フェイスの上段の小カンテ右のフェイス。
- 15c. **不明(5.9)** 太陽フェイスの上段の小凹角。上から流れてきた泥がホールドに溜まっている。
16. **不明(5.8)** 「松の木」の右のフェイス。
17. **松の木(5.8)** 松の木に向かってほぼ直上。
18. **不明(5.7)** 「松の木」の左のフェイス。17の終了点使用。
19. **カニノハサミ・オリジナル(5.6)** ハサミの付け根のガバを右に出る。良い終了点なく、ローダウンの場合は20の終了点に自分で構築する。
20. **モンキー・マジック(5.8)** ハサミの右のフェイスを直上。終了点がリングボルト2本のみなのでスリング持参で自分で構築。
21. **カニノハサミ(5.7)★** 中間部のルンゼに泥が多いが、上部のハング気味の凹角はスッキリしており、長くて充実感の得られる好ルート。
22. **カニノハサミ・左ハング(5.8)** 24ルートとの分かれ目付近は浮石が多いので注意。
23. **Aルート上部(5.5)** 「Kさんによるトポ」では24ルートがAルートとなっているが、コメントにある右に登って行く弱点をついたラインが妥当と思われるので、最後に15ルートに抜けるラインを独断的にAルートとさせてもらった。
24. **Bルート(5.5)** Aルートから分かれ左上気味に弱点を登って行く。左に出て草付きの凹角に入るラインが「Kさんによるトポ」ではBルートとなっているが、凹角はブッシュが多くルートという感じではないので、23番をAルートとしたのでこのラインをBルートとした。
35. **眞魚(5.11c)★** 下部は7ルートに登り、上部はそのまま上に凹角寄りからフェイスにある穴に移り、最後はカンテラインと合流する。眞魚(まお)は空海の幼名。
36. **カシナガ(5.11a/b)** 正面壁右奥のフェイス。クラックとフェイスのホールドからバンド状レッジをとる。凹角より左は手足とも限定で使用しない。終了点は予め回り込んで構築しておく。
37. **ボンビー(5.10b)** 大富豪右のフェイスを登るが、これが「小富豪」のラインか不明。取り付けは1歩上がったところで下部が核心。右のカンテに完全に出ない方が面白い。

●西壁

下部は傾斜がない。上部は前傾壁となって威圧感があるが、ガバホールドが多く思い切って登れる。一部浮石が多いので注意が必要である。



- 25. 不明(5.9)** 最後 26 ルートから分かれ、ブッシュの凹角から右は限定して使用せずクラックを使って登る。
- 26. 不明(5.10c)★** 上部で 27 ルートのホールド不使用でフェイスを直上すると 5.11a。
- 27. ムーンライト・セレナーデ(5.10c)★** 上部ハングを越えた上のボルトのハンガーがなかったが、リボルトで再設置された。適度なホールドが続く楽しいルート。
- 28. 金魔王(5.10d)★** 中間部少し浮石っぽいが、前傾フェイスを真っ直ぐ登るきれいな好ルート。上部ガバから上のレッジを取る部分がリーチが無いと遠いので、届かない場合は右のカンテに小ホールドがある。
- 29. 不明(5.11b)** 凹角の右のハング。泥と苔だらけだったので掃除してからトライした。ツイストロックで遠いバンドのガバをとる。ハングのボルトの周囲にヒビが入っていたので凹角側のボルトからもスリングを垂らしてバックアップを取ったが、長めのグージョンが入れているので大丈夫そうである。
- 30. 凹角(5.9)** ハング部分の1手が核心。
- 31. 空中遊戯ダイレクト(5.10c)★** 32 ルートの右のカンテを最後まで直上。きれいなラインで面白い。
- 32. 空中遊戯(5.10b)** 中間部右のカンテに出るところが核心、それ以外はガバ。
- 33. 不明(5.10b/c)** 西面左の前傾フェイスを直上する。中間部身長が無いと小カチでの引き付けがある。
- 34. 不明(5.7)** 西面一番左の弱点ルート。

■上の岩場

●東壁

岩雪のルートに新ルートが追加されたのか、エイドラインがフリー化されそうになったのか不明だが、「Kさんによるトポ」では大幅にルート数が増え、ラインの名称も異なっている。良く分からないまま登ってみると、一部プロテクションが撤去され整理されたと見え、現在は何本かに集約されてスッキリとした壁になっている。ルート名については、「岩雪」と「Kさんによるトポ」で全く異なる場合は、「Kさんによるトポ」の名称を採用した。各ルートは中間部で休めてしまうが、ライン的には不自然な感じはなく、見た目もきれいである。なお、ここは東面で冬の季節風が避けられるので、寒い時期の利用価値もありそうだ。

1. 不明(5.8) 右上部ハング左のフェイス。良いカチホールドがあり易しいが、登られていないので苔が多い。

2. アップル・ライン(5.10b/c)★ 見た目もムーヴもスッキリしている好ルート。

3. 岩ゴケ(5.10b/c)★ 「岩雪」のトポには、このラインは載っておらず、「4b」の下部ラインが「岩ゴケ」となっている。上部は2の左のフェイスを登る。「Kさんによるトポ」では上部左に出るようだが、プロテクションが撤去されたようで、上部はこのラインを直上し、「岩ゴケ」とするのが良いようだ。

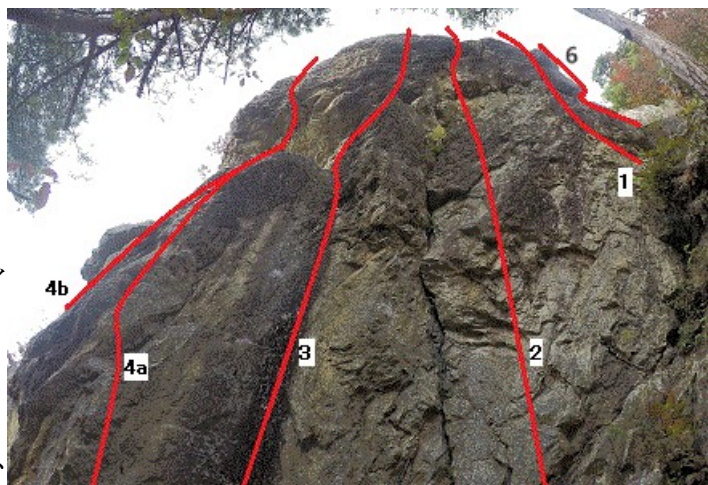
4a. 喜望峰カンテスタート(5.11a) 下部5.7、上部5.11aでトータル5.11a。「Kさんによるトポ」では、下部のグレードが「5.6」となっている。下部は出だし以外はガバ。本来「喜望峰」は4bスタートのラインだがカンテスタートでも上部まで登れば面白い。中間部でハングに打たれたハーケンにプロテクションを取ってからハング上のハンガーにかけないとランナウトする。

なお、上部フェイスの大きめの縦カチが剥がれたこと、ハングにあった浮石が取り除かれたことで上部が微妙に難しさが増したがグレードは変わらず。

4b. 喜望峰(5.11b)★ 「岩雪」ではこのルートの下部が「岩ゴケ」で、ハング下で終了となっているが、「Kさんによるトポ」では、ハングを越え岩上までの別名ライン「喜望峰」となっている。下部5.11a、上部5.11a程度でトータル5.11b。上下部ムーヴがあって面白い。3本目は4aラインのボルトを使用するが、しないとランナウトしすぎて危険。

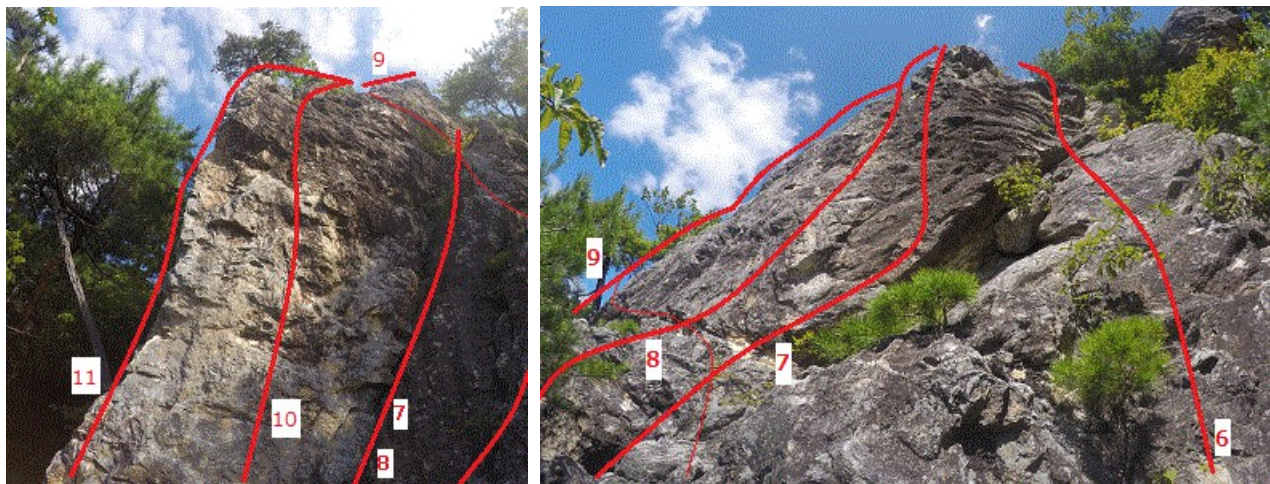
5. 左リッジ(5.8) 上部のハング越えが核心だが、中間部、ハング上のボルトに取るまでがランナウトするので注意。ハングを左から回り込んでいくライン(島津・渡辺Ⅱ)もあるようだ。

6. 不明(5.11b) 東壁北側のハングをカンテ左側のホールドを使いながら登る。最近登られておらず苔を落としてトライした。抜け口の最後のガバが遠い。



●B・Cカンテ周辺(南面上部)

易しいルートが多く、明るくて気持ちが良い。下部と繋げてマルチピッチの練習に良く使われている。



6. 島津・渡辺(5.4) 易しい階段状フェイス。
7. 神保・山際(5.8) Cカンテ右フランケの右ルート。
8. 不明(5.7) Cカンテ右フランケの左ルート。
9. Cカンテ(5.4) Bカンテからそのまま継続して登ればなかなか快適。
10. 不明(5.10c) Bカンテの右フランケ。Bカンテと右のコーナーより右は手足限定。限定しないと下部が易しくなりすぎて面白みが半減。「Kさんのトポ」の上部南面②ルートと同じラインなのか不明。
11. Bカンテ(恋人宣言)(5.9)★ 快適だがボルト間隔が近く、クリップに忙しい。もしかしたらエイド用にも使用？

●西壁(正面壁)

物見の岩で最も初期に登られたという壁で、傾斜も緩く、初心者や初級者向きの岩場。アイゼントレーニングにも利用されるアルパイン系の壁だが、面白いスポーツルートも何本かある。傾斜がないといっても、リードではリングボルトを使ったりランナウトする部分もあるので気は抜けない。

12. (5.6) コーナー状クラックの右のフェースにRCCが打ってある。終了点は13と共用。
13. ギャラクティカ・マグナム(5.10d)★ きれいなフィンガリーなフェイス。右カンテを限定不使用で登ったが、限定なのかは不明。
14. 中村2(5.7) 太い松の木右のガバと穴のあるフェイス。
15. 中村1(5.8) 太い松の左からスタートする。フェイスからバンドに出たらDカンテのフランケを登り17の終了点へ。
16. スクエア(5.10b) ★ 右のハンガーボルトのライン。穴のホールドをとる。上部はボルト沿いに登ると意外と難しい。トポ中に見える横になった松の木が切られてスッキリした。



17. 中央フリーウェイ(5.10b)★

中央の RCC ボルトのライン。16a の穴に出ず、ボルト沿いに直上。

17a. 不明(5.9) 17の左のハンガーボルトから回り込むように登る。上部は17へ。

18. ジェードル(5.6) 最後は直上と右抜けがある。

19. 不明(5.9) ジェードルから左のフェイスに入り、最後はハングを右越え。

20. 不明(5.7) 段々フェイスから最後はハングを左越え。

21. C・S チムニー(5.6) 最後にチョック・ストーンのあるチムニー。スタートは下から直上しても良いし、右のフェイスからも行ける。

22. 信大ルート(5.9)★ 最後がガバのハング越え。

22a. 不明(5.10b/c) 最後のハングの右フェイスを登る。ボルトは22と共用。抜け口のホールドが分かりにくい。

23. 不明(5.7) フェイスから上部カンテ左のフランクを左上する。

24. 不明(5.8) きれいなフェイスを上がって横に寝た松で終了。23に繋げても良い。

25. 不明(5.4) フェイスから右にカンテ越え。

26a. 不明(5.5) 小ハングを直上。

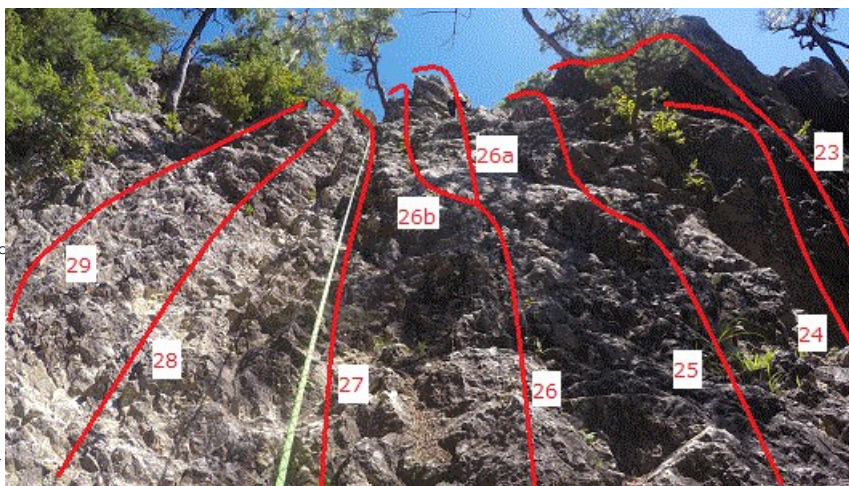
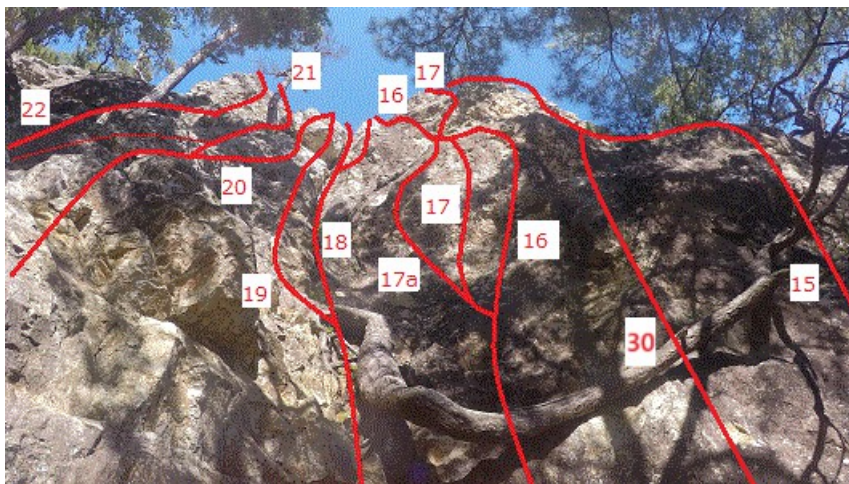
26b. 不明(5.4)

27. 不明(5.3) ルンゼ状。

28. 不明(5.4) 階段状フェイス。

29. 不明(5.3) ルンゼ状。

30. サイボーグ68(5.10a) スッキリしたフェイスのボルトラインを直上し、上部は15ルートの上を登る。



■南面下部

●A カンテ・スラブ壁周辺

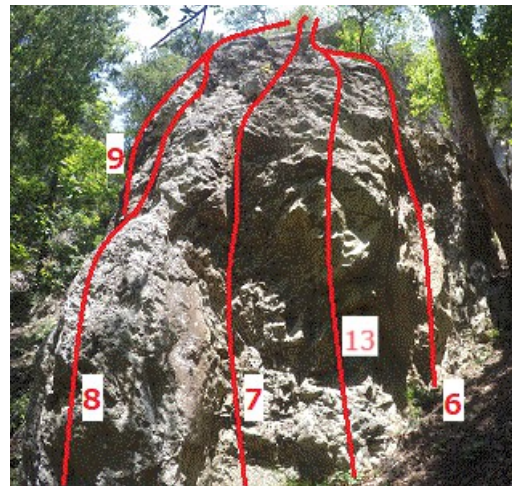
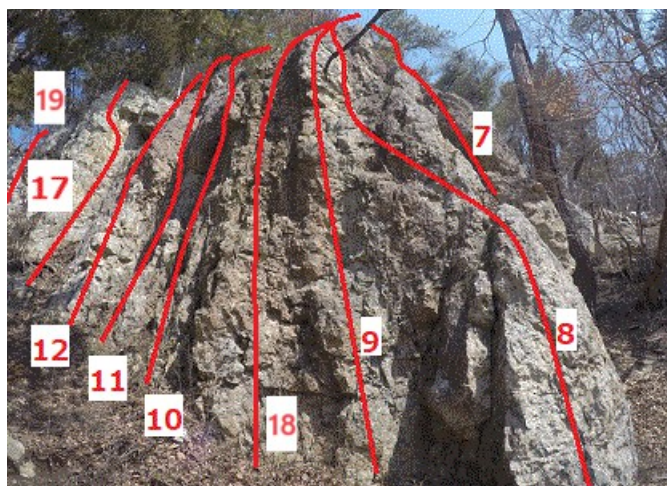
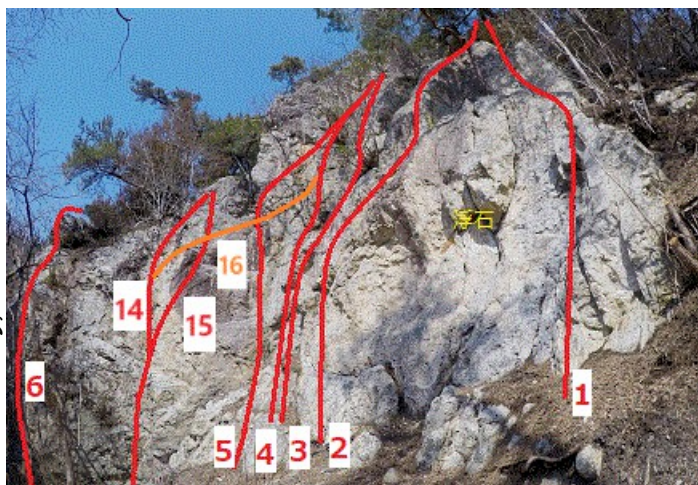
南面上部に繋げてマルチピッチの練習に使われているようだがあまり人気がない。昔からのルートはリングボルトやハーケン、RCCボルトが中心でランナウトする個所もあり、注意を要する。

令和5年秋にAカンテとスラブ壁間の空白部に数本の新ルートを設定した。

Aカンテ周辺はブッシュを取り払い、一部リボルトしたのですっきりし見栄えの良い壁となった。

スラブ壁周辺は、左側の苔やブッシュの多い壁と右の白いスラブ状の壁で構成されており、全体的にプロテクションが不安定で、かつランナウトするルートもある。また、中央下部に大きな浮石のチョックストーンがあり、緩んで落下する可能性があるため、直下での休憩などは避けた方が無難である。

1. 長電(5.6) 易しいが最後がリングボルトなので落ちたくない。
2. 不明(5.6) これも易しいがランナウトするので落ちられない。
3. 不明(5.5) 泥とブッシュの凹角から松の木にランナーを取って上部フェイスに上がる。さらにリングボルトからフェイスを登るがランナウトするので落ちられない。フェイスが快適なので少々残念。
4. 不明(5.8) 3のルートと出だしは同じで灌木の切株左側の快適なフェイスを登る。上部のフェイスはリボルトしたので不安なく登れる。5ルートから入っても良い。その方がきれいなラインである。最後は右上バンドを少し登って3の終了点へ。マルチの場合はさらに南面上部壁へ繋げる。
5. 不明(5.5) 易しいマルチ用のライン。松の木からテラスに上がり、Bカンテ下でビレイするか、3、4ルートの終了点まで右上バンドを登る。



6. 松くい虫(5.11a)★ 枯れた松の木横のエイドラインのフリー化。面白いラインなので命名してみた。その後、リボルトしてスッキリしたスポーツルートになったので安心してトライできるようになった。
7. 不明(5.5) Aカンテ右の凹角を登る。ボルトの位置がちょっと悪い。
8. Aカンテ(5.6) カンテ末端から入りハーケンにクリップ後、左上し上部で9ルートのカンテに入る。上部はハーケンも見られるが直上ラインのボルトを使用。
9. Aカンテ直上(5.8)★ 上部のカンテの真下から直上し、カンテもダイレクトに登って行く。
10. 不明(5.6) ハーケン連打のクラックを登り、最後は11ルートのボルトを使用し9の終了点へ。
11. 不明(5.7)★ 顕著なグルーヴを登るルート。
12. 不明(5.5) 11ルートの左側のフェイスをTRで登る。易しいがきれいで快適。フェイスの左側にあるリングボルトは中間部が抜け落ちておりリードはできない。
13. お血脈(5.9) Aカンテ右のハング中央から入り上部はスラブ。まだ岩茸が多い。
14. 日焼け止め(5.7) ガバをつないでいくフェイス。易しいが快適。

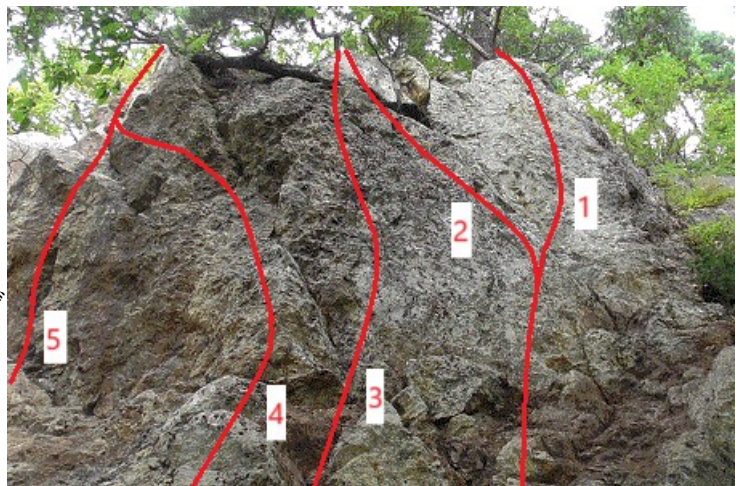
15. **メラニン(5.8)** 14ルートの2本目から右上気味に階段状フェイスを登り14の終了点へ。
16. **シルバーライフ(5.10a)★** 14ルートの4本目手前から右にトラヴァースし、15ルートの4本目から4番の上部フェイスへと登るリンクルート。
17. **不明(5.6)** 12ルート左のハーケンが打ってあるフェイス。
18. **不明(5.7)** 9ルートの左の汚れたフェイスの岩茸を落としたらハーケンが打たれたルートが現れた。1本目は9ルートのリングボルトにとると安心。
19. **不明(5.2)** 17ルートのブッシュを挟んで4m程左、上の岩場にかかる易しいスラブの一番右端にリングボルトが打ってある。

●南面下部左壁

岩井堂観音の岩場(正面壁)の右上にあるブッシュで覆われた壁を掃除してみたら、高さはさほどないがそこそこ楽しめる壁が出現したので何本かルートを設定してみた。最近では全く登られていないが、古いハーケンやボルトが散見でき、先達の意欲的な活動を垣間見ることができた。

簡単に掃除をただけなのでまだまだルート上は泥砂が多いが、登りやすくなればグレードの見直しも考えられる。

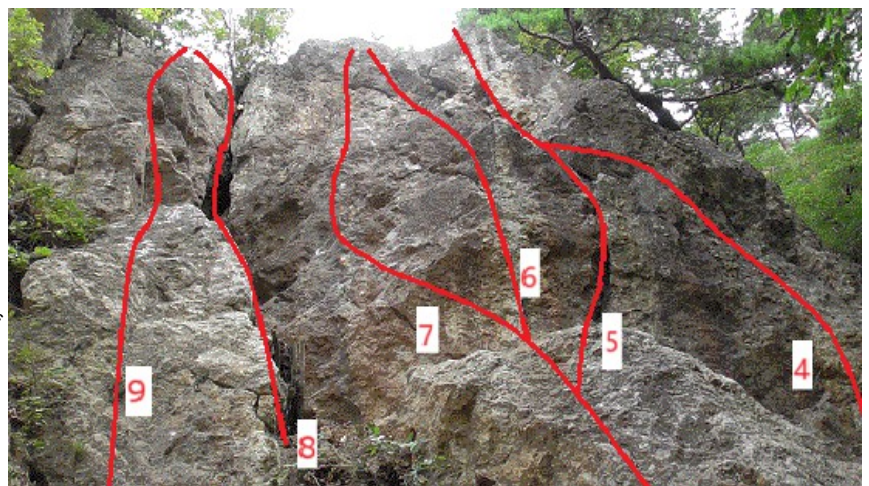
1. **アルクマ(5.9)★** 右側のきれいなフェイス。
2. **不明(5.3)** リングボルトとハーケンをつないで登る。1本目は1ルートのボルトと共用。
3. **岩茸(5.7)** 岩茸の多いフェイス。左のガバを使用しても良い。1本目は4ルートと共用。上部は松の根でプロテクションをとる。



4. **牛に引かれて(5.9)** リングボルトとRCCボルトのあるフェイスを、右下のガバから入り3本目から左に出て5ルート上部に合流。

5. **おやき(5.7)★** ハーケンの打たれたルート。1本目は6、7ルートと共用。昔のいい弱点ルートなので名前を付けた。

6. **護摩の灰(5.10a/b)** 斜めのガバから外傾レッジへ。最上部は残置ハーケン利用で7ルートの終了点へ。ガバなのに何故かバランスが悪い。



7. **阿闍梨荒れ(5.11a/b)★** 下部の大きなレッジから左の土手に出ず、フェイスを左に出て縦カチホールドから細かなフェイスを直上。最後は残置ハーケン利用。

8. **チムニー(5.3)** 下部が土手なので9ルートのカンテから入り、レッジからチムニー側に回り込んでも良い。

9. **ボーダーカンテ(5.4)** マルチピッチに利用できそうなラインなので、ハーケンを打ってリードできるようにした。最後のプロテクションは横になった松にスリングでとる。